

躯体式バルコニー屋根 ヴェクター

柱取付要領

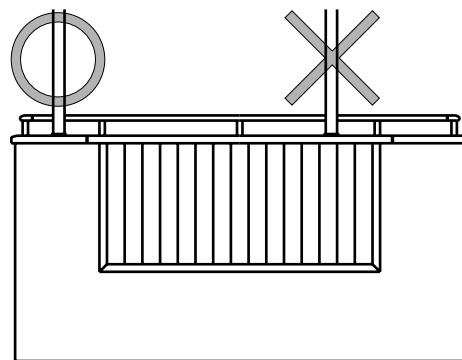
施工上の注意

以下のような場所への取付けはできません。

- A・Cタイプは一般住宅の2階、Bタイプは2，3階に取付けることを前提として設計してあります。

それぞれの設定階を超える場所への取付けは破損の原因になりますので、絶対に行わないでください。

- 掘込み部の上に柱をたてることはできません。
掘込み部を避けて取付けてください。



シーリングは必ず実施してください！

- 「**シーリングマーク**」で表示している箇所の**シーリングは必ず行ってください**。
シーリングがされないと、**漏水の原因**となったり、家屋や家財を傷めるなど**重大事故につながるおそれ**があります。
- シーリング材は別途手配品です。



目 次

■組立・施工の前に	2
■商品仕様	3
■躯体補強について	4
■柱長さの算出・切詰め	5・6
■施工方法	
■Aタイプ	7・8
■Bタイプ	9・10
■Cタイプ	11
■商品断面図	12～14

■組立・施工の前に

このたびは、YKK AP 商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

組立・施工の前に…

商品を正しく組立・施工していただくために、説明書の内容をご確認ください。

商品の組立については必ず説明書に従ってください。

組立・施工の後に…

取扱説明書・使い方&お手入れガイドブックをお施主様にお渡しください。

お願い

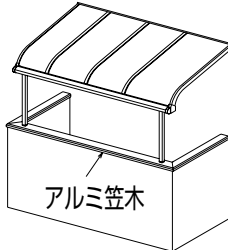
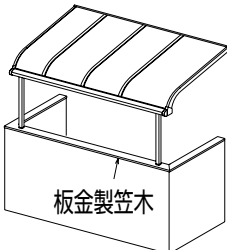
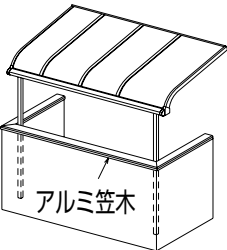
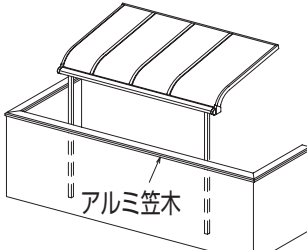
- 建物の屋根雪が直接落ちる場所には、取付けないでください。
- みだりに改造や変更はしないでください。
- 組立は、所定のねじを使用して最後まで締め付けてください。
締め付け不良は漏水や性能低下および事故の原因になります。
- 商品の上に乗ったりはしごをかけないでください。
商品の破損だけでなく落下事故の原因になります。

3

商品仕様

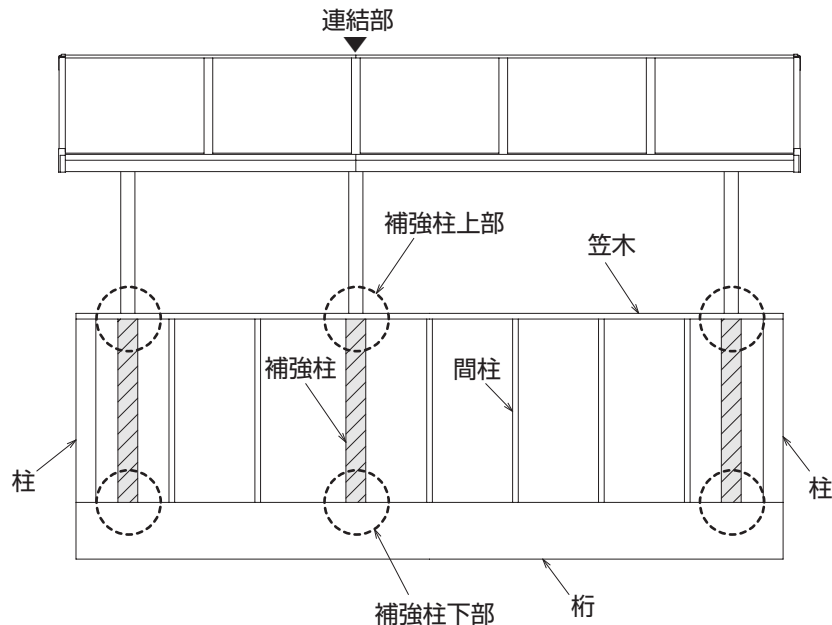
■商品仕様

本商品は以下の3タイプがあります。
各タイプにより、施工方法が異なりますので注意してください。

タイプ		Aタイプ	Bタイプ		Cタイプ			
姿 図			コーナー用	中間用				
								
			施工方法			先付施工	後付施工	後付施工
			躯体補強			必要	不要	必要
笠木の種類	フラットタイプ	○	○	○	○			
	傾斜タイプ (傾斜角度10°以下)	○	○	○	○ (傾斜角度10°以下)			

■躯体補強について

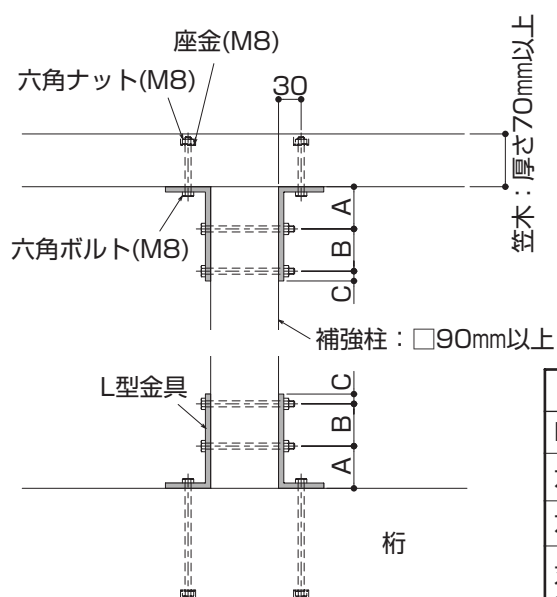
※躯体補強（商品仕様参照）が必要な場合、以下を参考に建築業者様と事前に打合わせを行ってください。



■躯体補強について

- 外壁仕上げの前にバルコニー屋根の柱位置を決め、
真下に □90mm以上の補強柱（木）
厚さ70mm以上の笠木（木）
を現地にて取付けてください。

- 風による吹上げ荷重がかかるおそれがあります。
以下を参考に補強柱を強固に連結してください。



A : 56mm以上（ボルト径の7倍以上）
B : 56mm以上（ // ）
C : 13mm以上

部 品	仕 様
L型金具	鋼製 厚さ7mm以上 幅85mm以上
六角ボルト(M8)	ねじ山が2山以上ナットから突き出していること
六角ナット(M8)	—
丸座金(M8) 角座金(M8)	厚さ4.5mm以上 丸座金直径45mm以上 角座金一辺40mm以上

上記の例以外に、「羽子板ボルト」等の建築金物で固定することも可能です。
ただし、鉛直上向きの短期荷重7.5 (kN) に耐える強度にしてください。

5 柱長さの算出・切詰め

■柱長さの算出・切詰め

1 補強柱の確認

躯体に取付けた補強柱の位置を確認してください。

2 柱長さの算出・切詰め

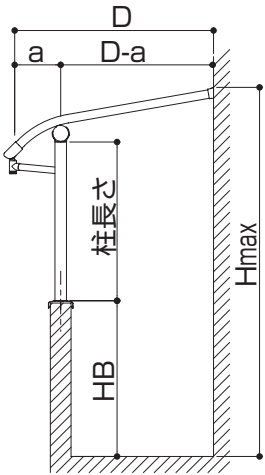
現地にてHmax・D・a寸法を測定し、柱長さを算出・切詰めてください。

柱移動距離(a)範囲表

	アール型	フラット型
Iタイプ	130～500	120～500
IIタイプ	160～500	130～500
IIIタイプ	270～500	170～500

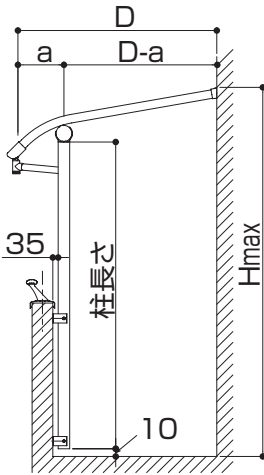
図は Iタイプ アール型 で示しています。
他の場合も同様です。

Aタイプ



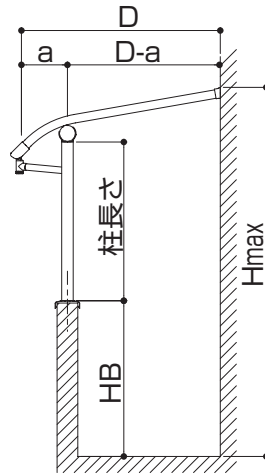
柱長さ = Hmax - A - B - HB - 8

Bタイプ



柱長さ = Hmax - A - B - 10

Cタイプ



柱長さ = Hmax - A - B - HB

Iタイプ

600N/m²

	1～2間	2.5間
3 尺		
4 尺		
5 尺		
6 尺		
7 尺		

IIタイプ

600N/m²

	1～2間	2.5間
3 尺		
4 尺		
5 尺		
6 尺		
7 尺		

1500N/m²

	1～2間	2.5間
3 尺		
4 尺		
5 尺		
6 尺		
7 尺		

IIIタイプ

1500N/m²

	1～2間	2.5間
3 尺		
4 尺		
5 尺		
6 尺		
7 尺		

●A寸法を下表より選んでください。

A=()mm

アール型

呼称奥行 D	A		
	Iタイプ	IIタイプ	IIIタイプ
3尺	276.3	316.4	446.4
4尺	329.2	369.3	499.3
5尺	382.1	422.2	552.2
6尺	435.0	475.1	605.1
7尺	487.9	528.0	658.0

フラット型

呼称奥行 D	A		
	Iタイプ	IIタイプ	IIIタイプ
3尺	272.3	313.2	443.2
4尺	325.2	366.1	496.1
5尺	378.1	419.0	549.0
6尺	431.0	471.9	601.9
7尺	483.9	524.8	654.8

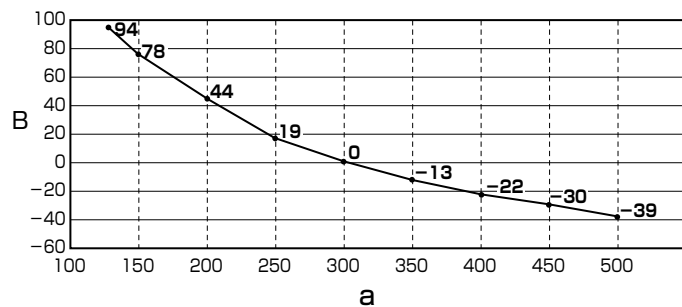
●測定したaをグラフにあてはめ、Bを求めてください。

B=()mm

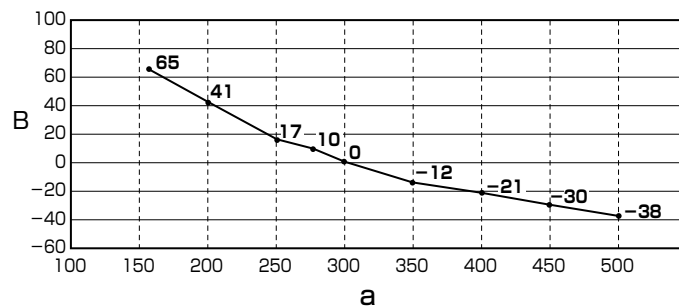
この表は、標準柱移動距離を300mmに設定しています。

アール型

Iタイプ

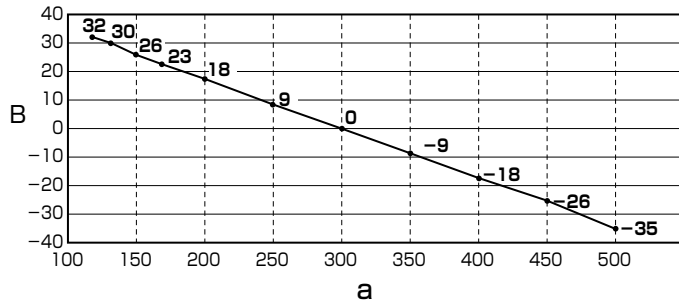


IIタイプ・IIIタイプ



フラット型

Iタイプ・IIタイプ・IIIタイプ



7 施工方法

■施工方法

Aタイプ

1 柱ベースの取付

下穴(φ4.5)をあけシーリング材を充てんし、コーチねじで柱ベースを取付けてください。

お願い

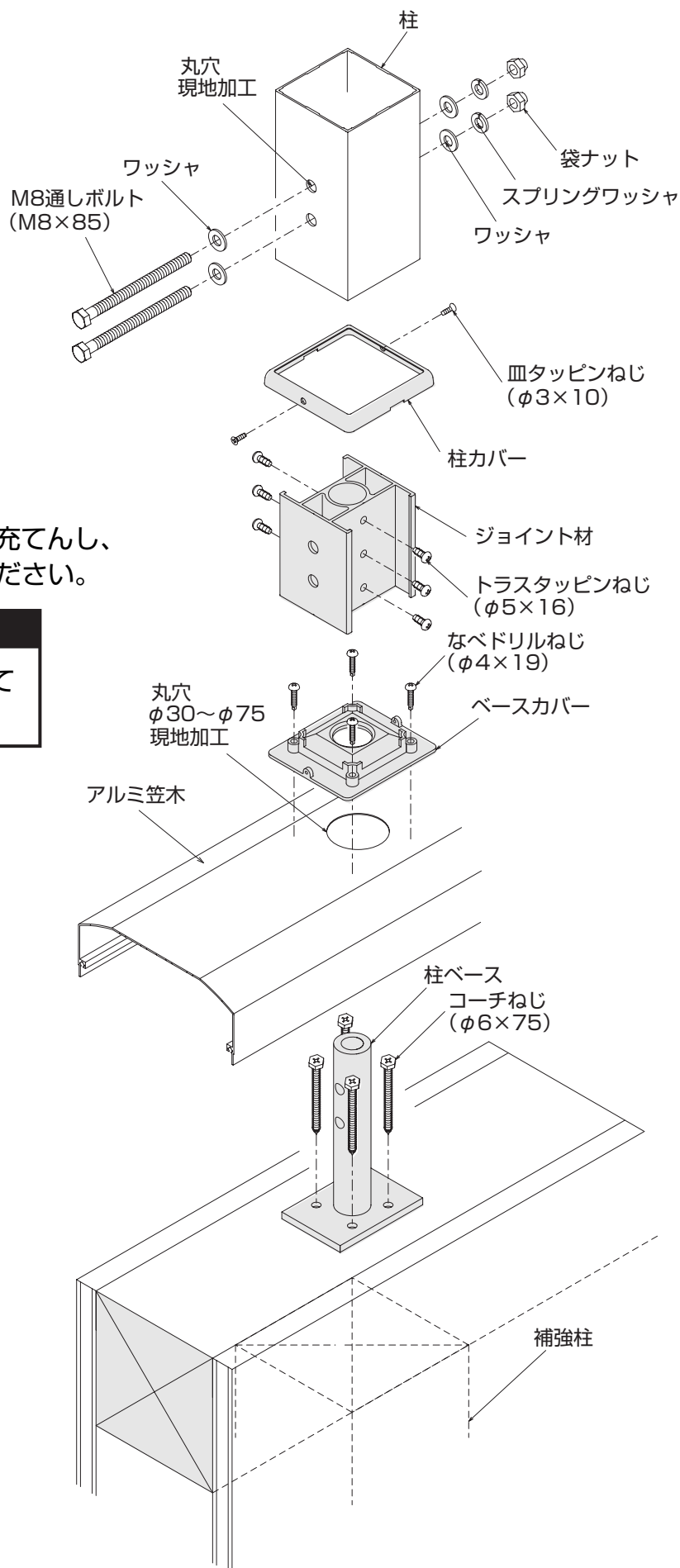
柱ベースは補強柱の真上に取付けてください。

2 アルミ笠木の穴あけ

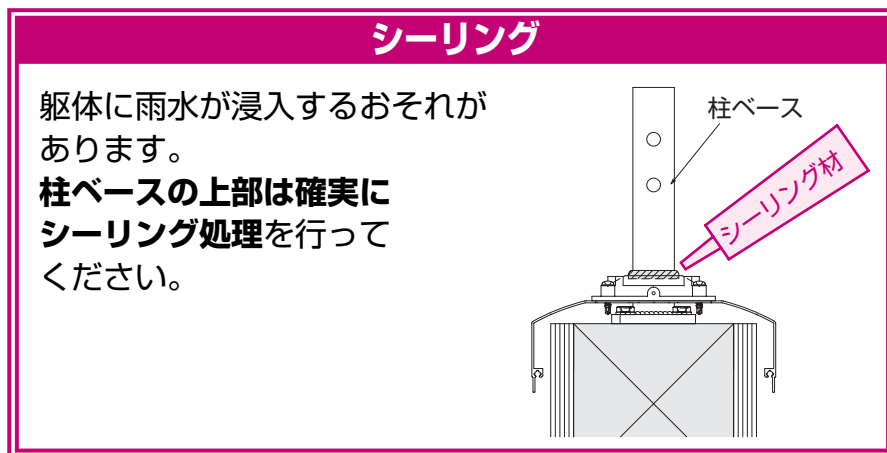
アルミ笠木に丸穴(φ30~φ75)をあけてください。

3 ベースカバーの取付

ベースカバー裏面の両面テープのはくり紙をはがし、アルミ笠木に取付け、ドリルねじで固定してください。



4 防水処理

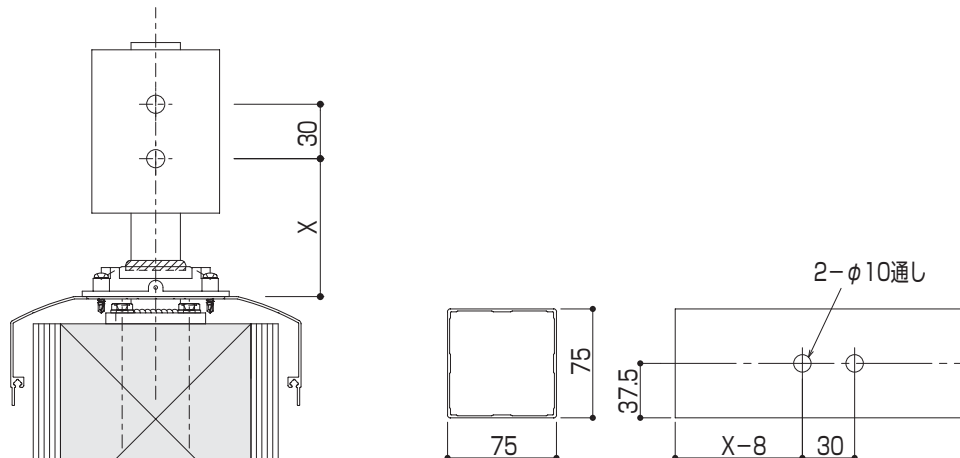


5 ジョイント材の取付

ジョイント材を挿入し、ねじで固定してください。

6 柱の穴あけ

下図のX寸法を測定し、穴通し (2- $\phi 10$) をあけてください。



7 柱カバー・柱の取付

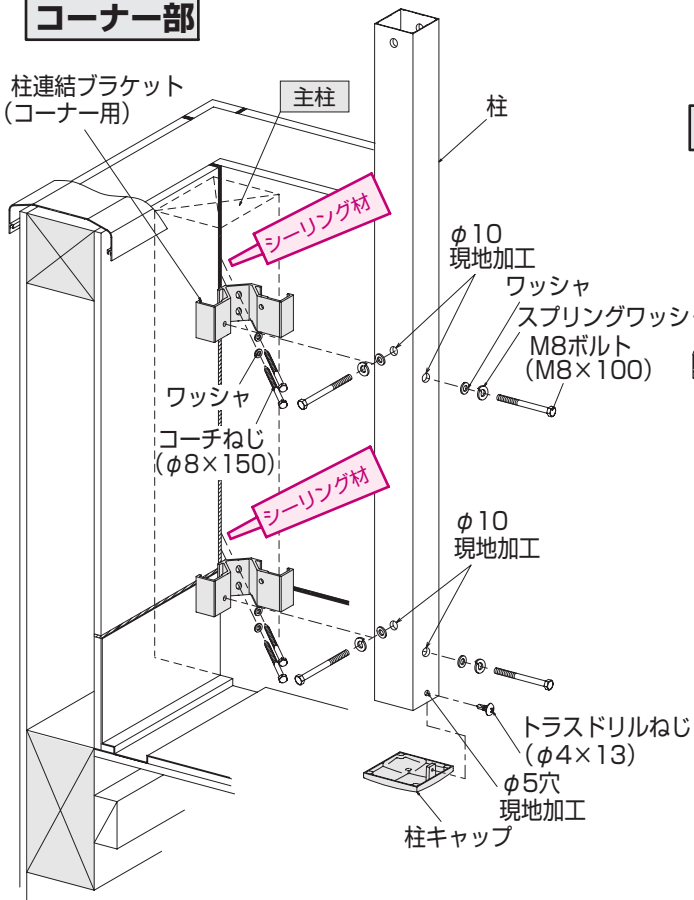
柱カバーをねじ止めし、柱を通しボルトで固定してください。

これ以降は、本体の組立・施工説明書をお読みください。

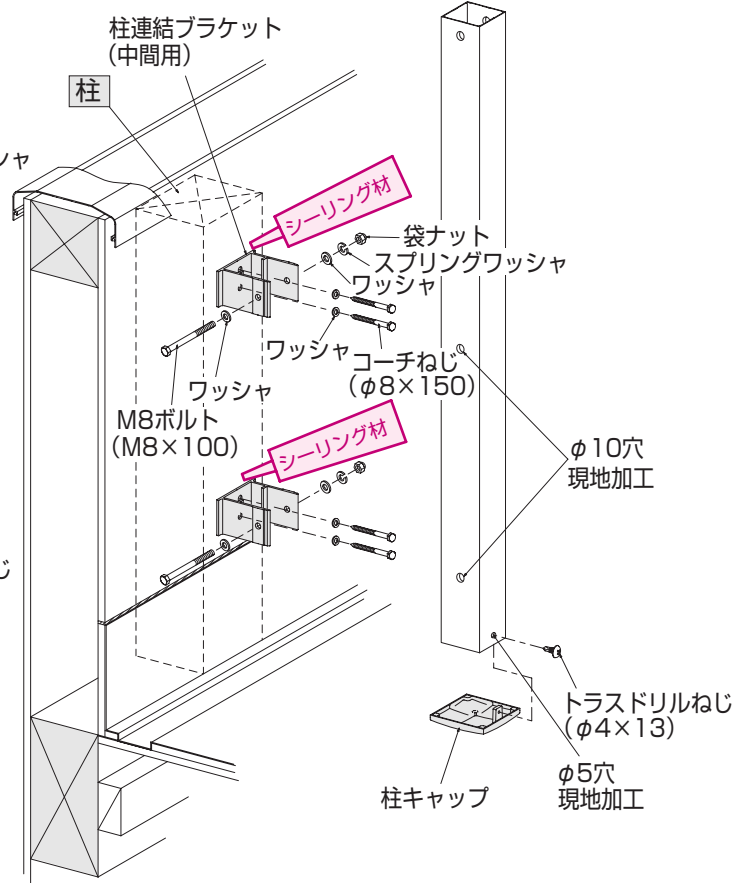
9 施工方法

Bタイプ

コーナー部



中間部



お願い

柱連結ブラケットはなるべく
離して取付けてください。

1 柱連結ブラケットの取付

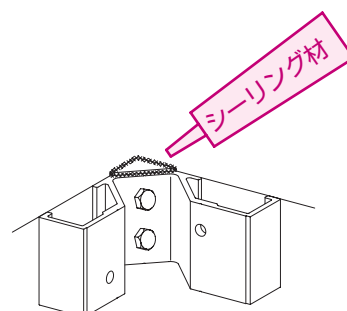
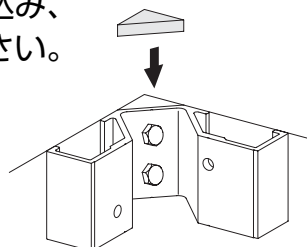
下穴 (φ6.5) をあけシーリング材を充てんし、
コーチボルトで柱連結ブラケットを取付けてください。

注意

- 柱連結ブラケットは、確実に躯体柱へ取付けてください。
- 躯体に雨水が浸入するおそれがあります。
コーチボルトの下穴およびコーチボルトの周囲は確実に
シーリング処理を行ってください。

2 クッション材の取付 (コーナー用のみ)

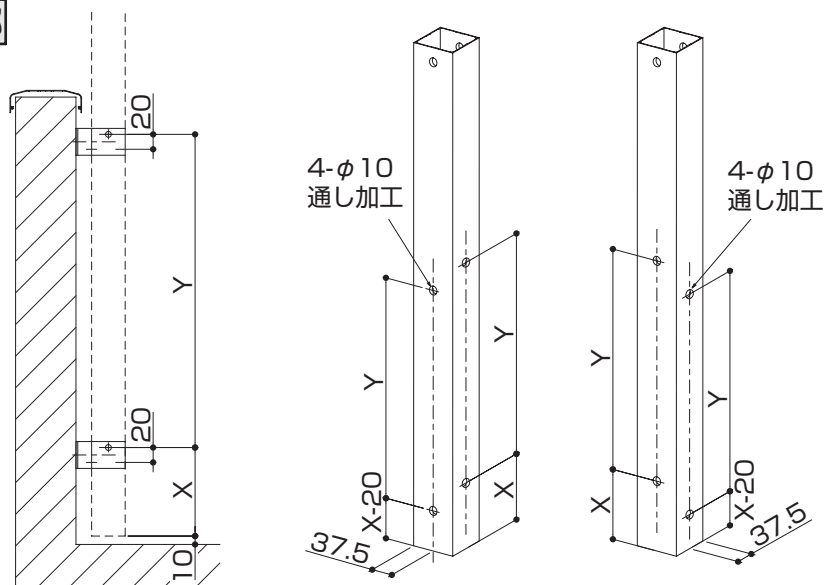
クッション材を上から差し込み、
全周をシーリングしてください。



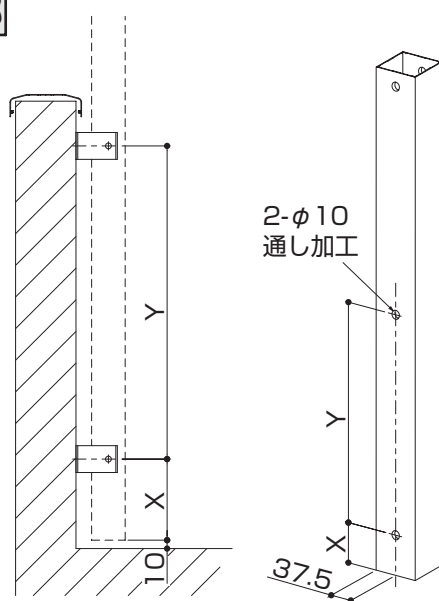
3 柱の穴あけ

下図を参考にX、Y寸法を測定し、通し穴($\phi 10$)をあけてください。

コーナー部



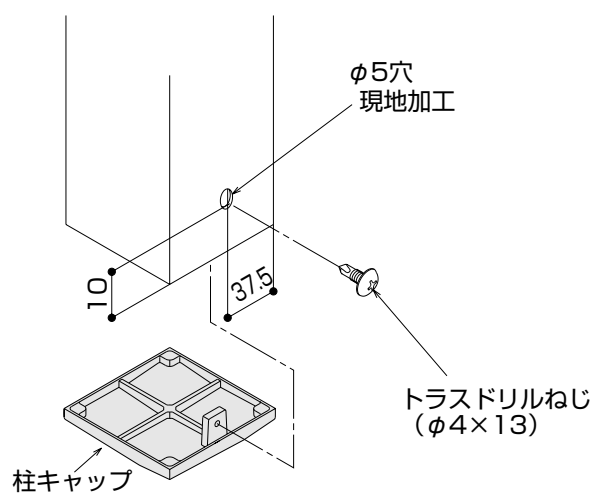
中間部



ポイント

- 柱の向きに注意してください。
- 排水口カバーがある場合、柱のF.Lからの高さ(10mm)は、カバーを避けた寸法に切詰めてください。

4 柱キャップの取付



5 柱の取付

M8ボルトで柱を取付けてください。

これ以降は、本体の組立・施工説明書をお読みください。

11 施工方法

Cタイプ

① 柱シーラー・柱ブラケットの取付

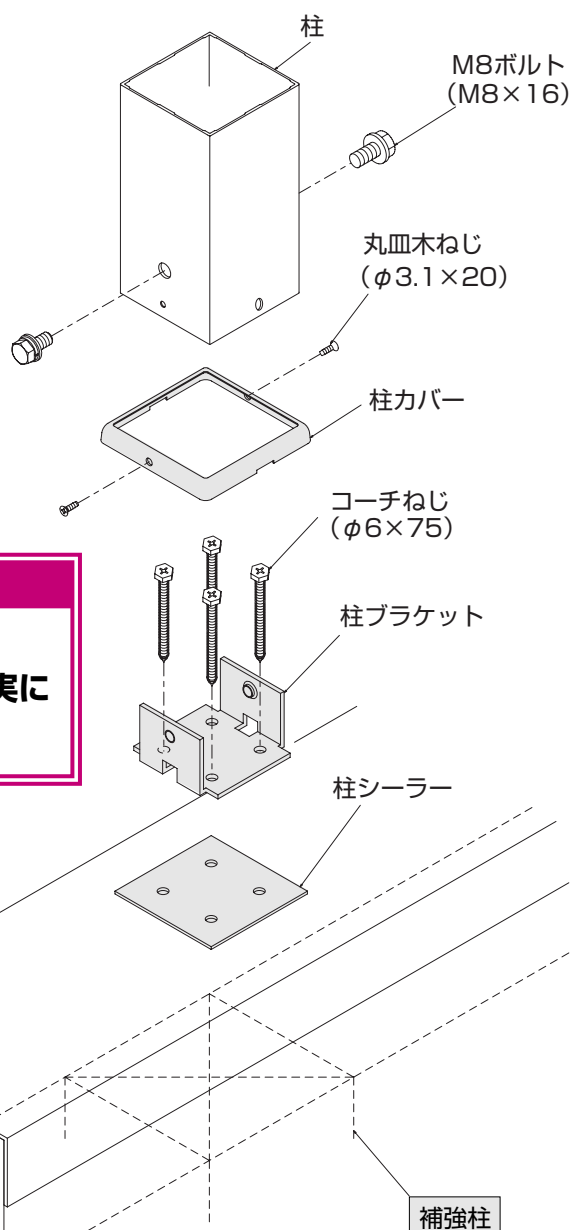
柱シーラーを貼り、下穴($\phi 4.5$)をあけシーリング材を充てんし、コーチねじで柱ブラケットを取付けてください。

お願い

柱ブラケットは補強柱の真上に取付けてください。

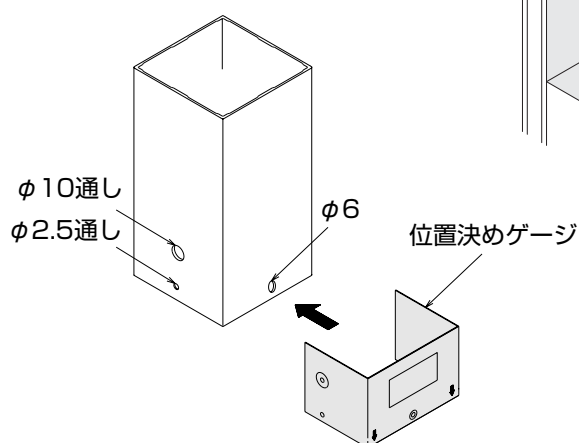
シーリング

躯体に雨水が浸入するおそれがあります。
コーチねじの下穴およびコーチねじの周囲は確実にシーリング処理を行ってください。



② 柱の穴あけ

付属の位置決めゲージで、柱下面の穴加工を行ってください。



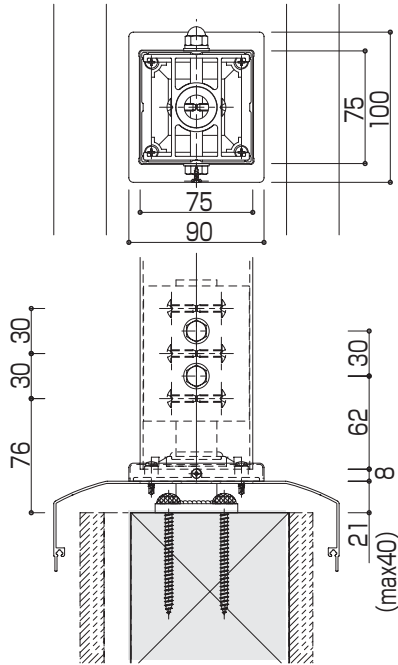
③ 柱力バー・柱の取付

柱力バーをねじ止めし、柱をボルトで固定してください。

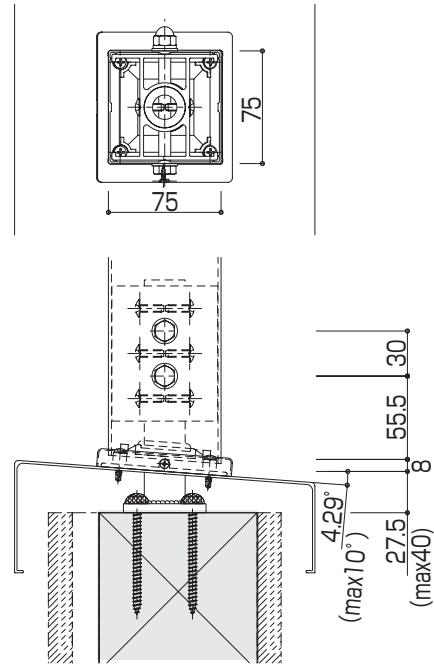
これ以降は、本体の組立・施工説明書をお読みください。

商品断面図

Aタイプ



平笠木

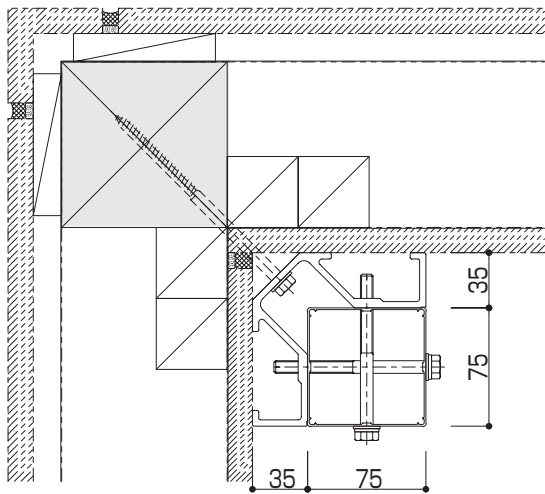


内勾配笠木

13 商品断面図

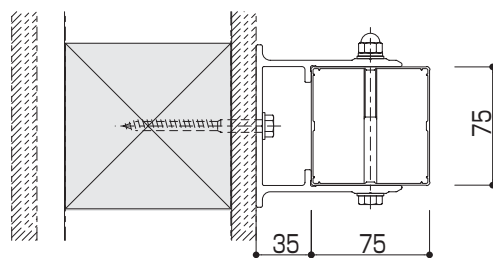
Bタイプ

コーナー部

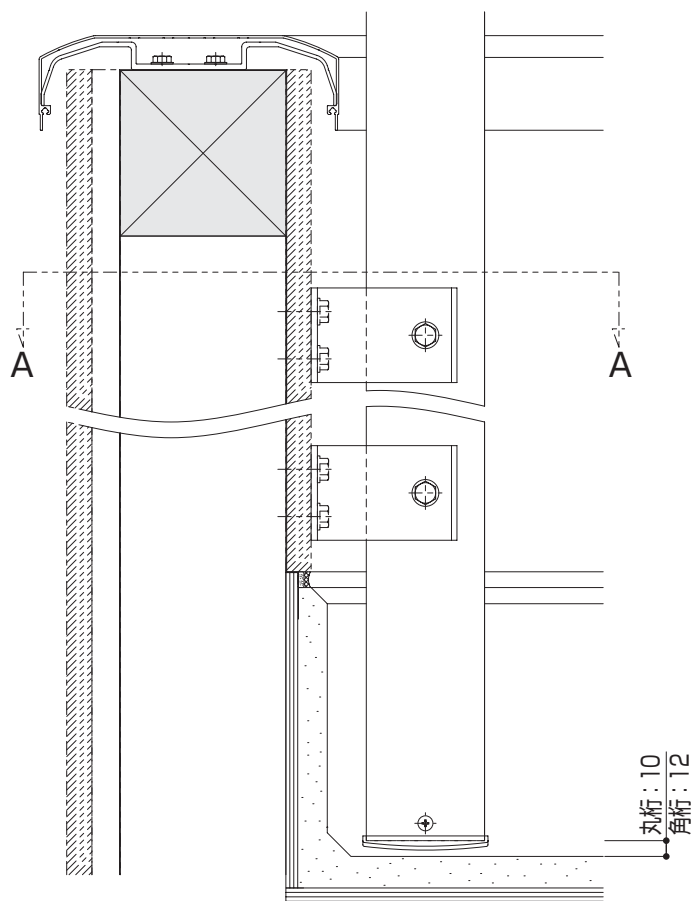
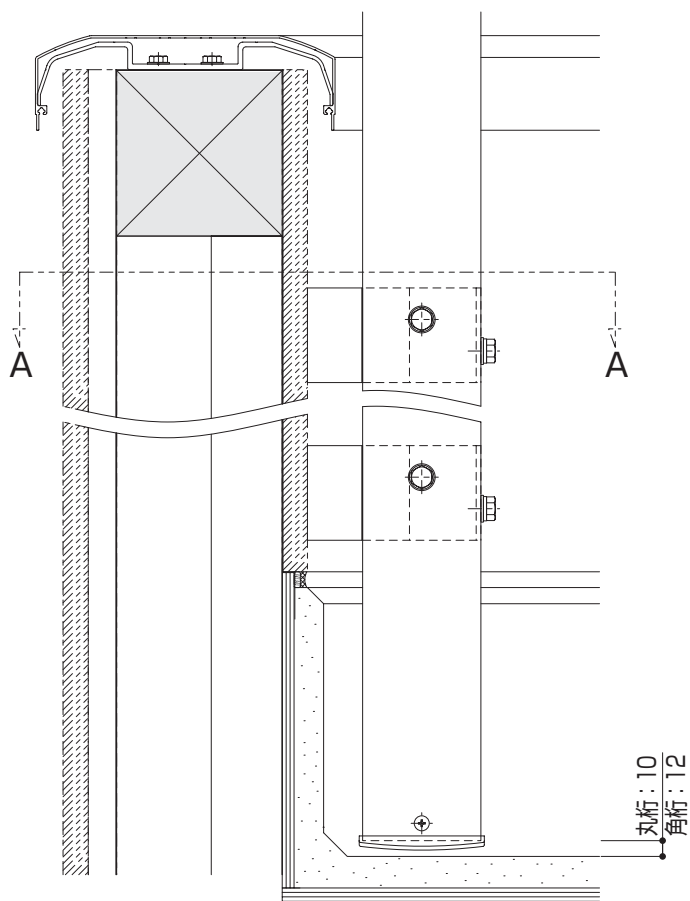


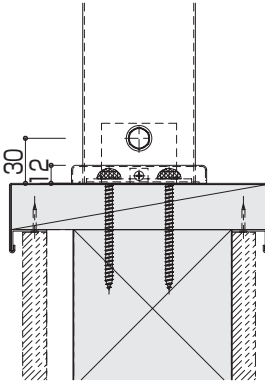
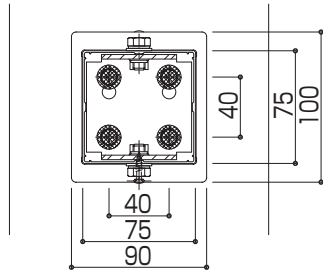
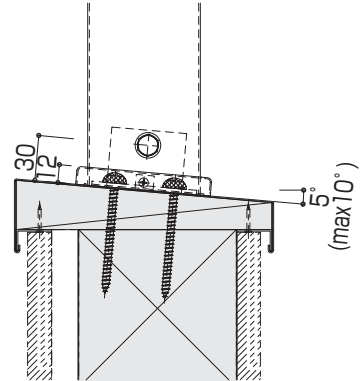
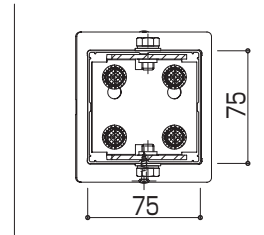
A-A断面

中間部



A-A断面



Cタイプ**水 平****傾 斜**

